

事 務 事 業 評 価 シ ー ト

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	保健センター管理運営費			
担 当 課 係 名	保健	課	係	作成者 羽崎祥一
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	すべての生命を慈しむ健康福祉のまち		
	基本計画	地域医療、救急医療体制の整備		
	主要施策	医療・保健・福祉施設の連携		
予 算 費 目	一般	会計	4 款 衛生費	1 項 保健衛生費 4 目 保健センター費
事 業 期 間	平成	年度	～ 平成	年度 新規 / 継続の区分 継続
性 質 区 分	☐ 市民サービス ☐ 公共事業 ☒ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理			
根 拠 法 令 等	仙北市保健施設条例			
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務			
運 営 方 法	☒ 直 営 ☐ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☐ 補 助			

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	地域住民の健康の保持増進及び福祉の向上を図る。
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	地域住民の保健、福祉サービスを総合的に推進できる活動拠点となる。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	地域住民の健康の保持増進及び福祉の向上を図るための予防、健診など各種保健事業、福祉サービスを行う。

【事務事業の推移】

(単位：千円)

	項 目	単位	18年度実績	19年度実績	年度実績
効果	活動指標	合併後の機能的な利用は皆無 (西木保健センターのみ健診等で利用)			
	成果指標				
投下コスト	項 目	総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額
	事業費（人件費を除く）(A)		2,598	2,591	
	国 庫 支 出 金				
	県 支 出 金				
	地 方 債				
	そ の 他				
	一 般 財 源		2,598	2,591	
	人 件 費 (B)	—	785	807	
	職 員 数	—	0.1	0.1	
	職 員 平 均 人 件 費	—	7,853	8,071	
単位コスト	(A) + (B) 投下コスト	—	3,383	3,398	
	活動指標1単位当たりコスト(円)	—			
	市民1人当たりのコスト(円)	—	106	108	

【事務事業の今までの成果】

建設当時はそれぞれの町村に於いて保健センター機能を十分に生かし、地域住民の健康の保持増進及び福祉の向上を図っていたと思われる。
しかし、旧角館町では健康管理センター、旧田沢湖町では健康増進センターを建設され、保健業務が新センターに移管された。（旧西木村では拠点として使用されている）

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	合併が原因で休止、廃止が取りざたされている。
事業に対する市民の意見 （事業に対する期待、要望、苦情等）	

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性		判 定 に 至 っ た 理 由
D	A	現状のまま継続（実施）	保健、福祉サービスを総合的に行う拠点としては機能していない。
	B	見直しの上で継続（実施）	
	C	大幅な見直しの上で継続（実施）	
	D	休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

旧角館保健センターと旧田沢湖保健センター（旧西木保健センター除く。）機能は全く果たされていない。
今後の維持、管理運営の必要性が疑問である。

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
D	現在の利用状況を考えると、転用及び用途廃止を含めた今後の施設のあり方について検討が必要と思われる。

一次評価診断図

